

平成30年度 第2回博物館協議会 抄録（Web版）

1 市民憲章唱和

2 あいさつ

3 協議事項

（1）平成30年度開催済事業報告（7月1日まで）

委員	小中学生に分かりやすい展示解説をしたのは博物館ボランティアか。
事務局	担当学芸員が行った。博物館ボランティアは2階常設展示室の解説を行っている。
委員	音声ガイドの利用状況が1日あたり5人ほどとの記載があるが、このことに関してはどう考えているか。
事務局	特別展と企画展がある中で、特別展は音声ガイドの利用率が高いという結果になっている。企画展は10%を超えない状況が続いている。音声ガイドは音声だけの特別な内容や、聞き手の嗜好を利かせたサービスは行っていない。企画展は見たら分かるような形になっているのでわざわざ聞く必要がないと判断している人がいることが理由だと考えている。ガイド自体も字を読むことが大変な方、高齢者などに向けて実施しているものなので、利用率の高低で判断はしていない。
委員	展示内容で見どころが多かったので、何度も観覧したが、そのような方は音声ガイドを使わないので、再入場の観覧者が多かったのかと思った。また、前後期で展示替えもしているのでそこも再入場につながっていると思う。
事務局	このような文化財展も今回で5回目となり、今年で最後になるので来年度以降の企画をどうしていくかを考えているが、民具シリーズでの展示を考えている。

（2）平成30年度下半期事業

委員	「幕府崩壊」展の入場者数の目標を教えてください。
事務局	目標は4,500人。非常に厳しい数字だと思っているが同時期の観覧者数はこの程度を目標にしていることと、全国的に明治維

	新150年ということで様々な地域で開催されているので相乗効果を狙って設定している。
委員	内容が専門的なので、興味がある方にはいいと思うが、大衆性があまりなく厳しい数字ではないか。
事務局	コンセプトは倒幕を図った薩長ではなく、幕府方からの視点で展示を行うので、幕末維新を別の角度から見たいという方にも来てもらえればと思っている。館としては借用資料だけで展示を行うのではなく、安城市域も幕末期は混乱していたので、そこも見てもらえるような展示としたい。
委員	視点は面白いので、ただの幕末でないことをしっかりとPRしてもらえればと思う。
事務局	展示のタイトルを「幕府崩壊」としたのも強烈なインパクトを与えたいと思い立ったからなので、ほかにも見てもらえるような仕掛けができればと思っている。
委員	10月7日の松平シンポジウムは定員が180名になっているのは制限を加えるためか。
事務局	180名しか席を用意できないという意味で記載している。
委員	毎回記載されていたか。
事務局	ないとクレームを受けるため記載している。
委員	中京大学連携講座は申込と記載があるが事前に申し込みが必要か。また、収蔵品展の「相撲」展はタイトルに芝居まで含まれるか。催し物案内には記載がないのでどちらが正しいか教えてほしい。
事務局	記載誤りなので申込なしで問題ない。タイトルには芝居まで含まれるので催し物案内を修正する。
委員	企画展・特別展ともにどのような内容で展示を実施していくかについても過去の議題には入っていたが今回はそのような資料がない。今後行っていく展覧会の目玉となるような資料があれば教えてほしい。
事務局	前回からそのような指摘を受けている中で申し訳ない。 まず、石川一族展は、本物ではないが長篠合戦図屏風や石川数正が活躍した姿が写っている姉川合戦図屏風、それに加え当時の古文書類を豊富に展示する予定。

	幕府崩壊展は、茨城県の天狗党の乱に関する資料などを展示する予定。 収蔵品展は、相撲に関する錦絵や奉納額などの普段見ないような資料を展示することを考えている。
委員	相撲の展示について、安城で行われた相撲だけでなく、江戸で行われた相撲も含めるのか、それとも安城を中心に行うのか。
事務局	安城を中心に行う。安城に興行できた相撲や祭礼で行っている相撲もあるようなので安城で行われているものを中心に、前提として江戸で行われていた相撲に関する出版物を展示しようと考えている。
委員	歴博福寄せ雛は今年度どのようなコンセプトで行うか。
指定管理者	相撲や芝居など、展覧会に合わせた内容を中心に行っていく。

(3) 平成31年度事業計画

委員	安城の今昔はどのような収蔵品展となるか。
事務局	収蔵品展は古文書類が中心であるが、今まであまり民具を出してこなかったので民具を中心とした展示を来年度から何回かに分けて行っていく予定。第1回目は防災・消防に関する民具で考えている。 「1964」は、どのような方向性で展示を行っていくか検討中。時期は東京オリンピックのころで考えている。2020年に東京オリンピックを控えており、この年に展示を行うと借用資料の取り合いになるので来年度行うことを計画している。
委員	昨年度末に行われた昭和の展示とは違う形になるのか。
事務局	戦後の展示になるので、一汁三菜と比べて時代は徐々に変化している。高度成長期を安城市域で表現することがなかなか難しいので、中身をどのように考えるか検討している。
委員	そのころの暮らしが中心になるのか、オリンピックが中心になるのか、それとも2本立てになるのか教えてほしい。
事務局	オリンピックに関わる資料だけだと時代観を表現できないので、オリンピック以外の資料も含めて表現したいと思っている。
委員	「1964」といえばオリンピックというイメージが強いが三種

	の神器等に焦点を当てていくのか。
事務局	三種の神器ではなく、もう少し考えた内容にしたいと思っている。
委員	下半期の展覧会だけでなく、来年度以降の計画についても議論を盛り上げていきたいところではあるが、資料が薄いように感じる。頭の中ではいろいろな考えがあるのでいいかもしれないが、説明を受ける委員としては初めて聞き、この資料があるというだけでは何を考えているか類推できない。 協議会にかければ、協議会をやればいいわけではなく、やるからには実りのあるものにならないと意味がないので、委員にも分かるような資料の提供をしてほしい。そうでなければこの協議会はやめた方がいい。もしくは再度開きなおして実のある資料を出していただくようお願いしたい。
委員	安祥文化のさとまつりはこの場では話をしないのか。
事務局	さとまつりは文化財係中心となるため、この場では議題として取り上げることはない。
委員	博物館の中でさとまつりも関わってくるので、博物館と関連する部分で今年大きな変更点もあるので話をさせてもらった。学校関係で変更点もあるので校長会などで説明をしておいたほうが良いと思う。
事務局	さとまつりはこちらが主体として行うものではないが、関わる部分は報告という形で説明させてもらうことにする。
事務局	先ほど委員から指摘のあった内容については、真摯に受け止め、次回からもう少し細かく準備できるもので準備をさせてもらう。今回はご了承いただいたということで進めさせてもらいたい。
委員	了解した。ぜひお願いしたい。

(4) その他

委員	博物館に置かれているリーフレット等で、博物館ニュースなど過去のバックナンバーをネット上で閲覧できるようにしてほしい。随時掲載していただければ一般にも知ってもらう機会にもなるし小中学生の勉強の機会にもなるのでぜひお願いしたい。
事務局	掲載した当時は許可が下りているものでも、現在は権利上公開で

	きないものもあるので、そういったものを抜いた形でしか公開できない。
指定管理者	埋蔵文化財センターは、文化財係が独自でホームページを作成しているのでそちらは文化財係に話をしておく。
委員	確認になるが、来年度は9月から3月までが休館となるのか。休館は歴博全体が使えないという認識でよいか。
事務局	その認識で問題ない。
委員	このような会議は別の場所で行うことになるのか。
事務局	そうなる。
指定管理者	歴史団体への案内は市から個別で出したほうがよい。
事務局	そのように対応する。
委員	来年度の見学学習は休館中どうなるのか。
事務局	休館中は歴博が使えないので、1学期中に終わっていただくように係の社会教育指導員と調整している。
委員	常設展などのボランティアも関わっているが実際にスケジュールとして実施できるのか。
事務局	現在5月頭から見学学習を行っているが、前倒すなどの対応を考えていきたい。これから広報等で告知が始まっていくので、始まってから調整を進めていく。